



Hyogonews

令和7年10月

HYOGO
ニュース
No.397

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38 TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256 E-mail info@hamt.or.jp
編集委員 住ノ江 功夫 / 西田 純子 / 大塚 淳平 / 田中 祐紀子 / 湊 宏美 / 黒木 知佳 / 森川 貴道 / 高田 稔雅 / 忍海邊 康祐 / 岡村 大輔 / 西村 崇弘 / 藤原 淳美
臨床検査情報センター URL <http://www.hamt.or.jp>

CONTENTS	兵庫県臨床検査技師会功労賞を受賞して、兵庫県臨床検査技師会学術奨励賞を受賞して	1
	兵庫健康財団がん予防功労者表彰を受賞して、第45回丹但地区研究発表会に参加して、第29回兵庫県医学検査学会・第42回西播地区研究発表会を開催して・参加して、#研究班(微生物研究班)、今後の予定	2・3
	[第10回] 突撃! となりの検査室(神戸赤十字病院病院)	4
	会員情報『私の推し事』数珠つなぎ VOL. 03	5



兵庫県臨床検査技師会功労賞を受賞して

渡辺 浩志 会員 (市立加西病院)

この度は、兵庫県臨床検査技師会功労賞を賜り誠にありがとうございます。身に余る光栄に恐縮しております。ご推挙いただきました関係者の方々、技師会の皆様に心より御礼申し上げます。



私の技師会での活動は、平成16年から平成24年まで生理検査研究班の班員、平成18年から新しく発足されたチーム医療研究班の班員を兼務し、日本糖尿病療養指導士の資格を取得していましたことから糖尿病に関する研修会の担当をさせていただきました。平成24年から理事となり、平成30年まで渉外部長を務めさせていただきました。理事在任中、兵庫県健康福祉まつり、検査と健康展、健康フェアイベントで臨床検査技師の啓蒙活動、参加者に簡易頸動脈エコー検査や認知症検査の体験を実施したこと等は貴重な経験となりました。また、糖尿病療養指導士兵庫県連合会や兵庫県医療職団体の立ち上げに関われたこと、日本臨床衛生検査技師会推進の認定認知症検査技師の普及啓発の活動に関わったことを誇りに思います。研究班班員から理事となり技師会活動に関われたことで沢山のことを学ばせていただきました。今の私にとってその時の経験、関わってくださった方々との出会いが一番の宝となっています。

最後となりましたが、兵庫県臨床検査技師会の益々のご発展と会員の皆様のご活躍を祈念して、受賞の御礼とさせていただきます。誠にありがとうございました。



兵庫県臨床検査技師会功労賞を受賞して

河谷 浩 会員 (姫路赤十字病院)

このたびは功労賞を頂戴し、誠に光栄に存じます。私が理事・地区連絡員として努めさせていただいたのは平成22年から10年間ですが、当時Webセミナーはまだ普及しておらず、地方会員がセミナーに参加することが非常に困難でした。今はZoomやTeamsなどで参加できる素晴らしい時代になったと喜んでいます。



古き時代をともに過ごした西播地区会員の皆様や地区委員、理事の方々には発表会や研修会等に関しご理解いただき、多くのご支援をいただけましたことを、心より感謝申し上げます。

また超音波講習では、神戸・豊岡・姫路と行脚し、技師会活動を通して多くの方々と巡りあうことが出来たことも、良き思い出です。

さて新時代となり、さらに若手がどんどん力を付けていってくれています。本当に頼もしい限りです。今後は微力ながらお手伝いができるように私自身こっそり頑張ってみますね。



兵庫県臨床検査技師会学術奨励賞を受賞して

小浦 範明 会員 (高砂市民病院)

このたびは学術奨励賞という榮えある賞を賜り大変光栄に存じます。身に余る評価をいただき、身の引き締まる思いです。



本受賞にあたり、兵庫県臨床検査技師会のチーム医療研究班や、糖尿病療養指導士兵庫県連合会の活動において貴重な機会を与えてくださった、宝塚市立病院の中筋先生をはじめ、多くの皆様のご支援とご指導に心より感謝申し上げます。

また、日々の業務の中で学術活動を継続できたのは、職場内での理解と協力あってのことと、あらためて感じております。

今後も臨床検査技師がチーム医療の一員としてより一層活躍できるよう、研修会の企画・運営等を通じて、微力ながら貢献してまいりたいと存じます。

引き続き、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

★ 兵庫健康財団がん予防功労者表彰を受賞して 川村 道広 会員 (近畿中央病院)

この度は、兵庫県臨床検査技師会に推薦いただき、兵庫健康財団がん予防功労者表彰をいただきました。誠にありがとうございました。

私の活動は兵庫県臨床検査技師会と共にありました。臨床検査技師になり最初に取り組んだのが細胞検査士資格取得のため兵臨技病理細胞研究班主催の細胞診ジュニアコースへの参加でした。できの悪かった私は何年も研究班にお世話になりました。お世話になるうちに私もこのような活動に参加したいと思うようになり資格取得後、当時の班長にお願いをして研究班に参加しました。研究班では学会の企画運営や精度管理事業を行ってきました。この活動から始まり兵庫県細胞検査士会の活動や、大学の非常勤講師など学術や後進の育成へと広がっていました。

私としては「ただ目の前に並べられた仕事を手際よくこなして」きたと思っていました。「なんてことのない作業がこの世界を回り回って何処の誰かも知らない人の笑い声を作っている」としたらとても嬉しく思います。おや?と思われた方もおられると思いますがMr.Childrenの「彩り」の歌詞の一部です。私はこの歌を仕事のテーマ曲にしています。「六甲おろし」のようなものですね。ご存じない方は一度聞いていただけると幸いです。

これからもがんでも亡くなられる方が一人でも減るように微力ではありますが努力を重ねてまいります。本当にありがとうございました。



令和6年度表彰者の皆様

第45回丹但地区研究発表会に参加して

原田 雅生 会員 (公立豊岡病院)



第45回丹但地区研究発表会が公立豊岡病院で開催され、6名の演題発表がありました。今回、私は初めて現地で参加しました。Web参加よりも緊張感があり、発表をより集中して聴くことができたと思います。6題の発表はどれも丁寧にまとめられており、普段の業務では触れる機会がない検査や各病院の取り組みについて学ぶことができました。特に、ヘッドアップティルト試験と、看護師の負担軽減を図るタスク・シフト/シェアの事例は、大変興味深く感じました。

私は日常業務で一般検査を担当しており、他の検査分野の学習がおろそかになりがちでした。しかし、今回の研修会を通して、他の検査分野についても積極的に学んでいこうというモチベーションが高まりました。知識を増やし、地域の医療に貢献したいと思います。

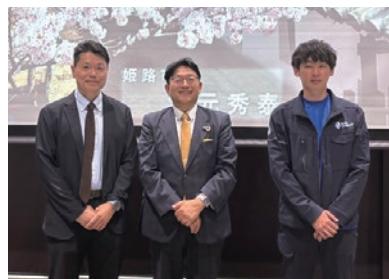
最後に、当日は夏のような暑さの中、会場運営にご尽力いただいたスタッフの皆様、そして発表者の皆様、貴重な学びの機会をありがとうございました。次回もぜひ参加させていただきたいと思います。



第29回兵庫県医学検査学会・第42回西播地区研究発表会を開催して

太田 理恵 会員 (西播地区理事)

令和7年7月6日に第29回兵庫県医学検査学会・第42回西播地区研究発表会を開催し、当初の予想を上回る多くの方々にご参加いただきました。今回は、西播地区としては6年ぶりの県との合同開催でした。また、西播地区で長年利用してきた『あすかホール』の改修工事に伴い、初めて『アクリエひめじ』を会場とした研究発表会となりました。初めてのことばかりで、最初は不安しかありませんでした。開催までの間、予測可能な不安要素は事前にできる限り潰していました。しかし、初めてとうこともあります、当日会場に行って気が付くことも沢山ありました。様々な予期せぬことがありました。その度にスタッフとの連携により迅速に対応することができました。そのおかげで、大きなトラブルもなく無事終えることができました。これも信頼できる優秀なスタッフに恵まれたからだと思います。また、学術部長をはじめとする学術の皆様、当番病院の皆様や本会の開催にあたりご協力いただいた全ての皆様のおかげだと思います。本当にありがとうございました。



座長大崎様・講師清元様・山下様

第29回兵庫県医学検査学会・第42回西播地区研究発表会に参加して

加藤 綾太 会員（兵庫県臨床検査研究所）

令和7年7月6日に開催された兵庫県医学検査学会・西播地区研究発表会に参加させていただきました。今回の研修では、感染性心内膜炎についてご講義いただきました。

感染性心内膜炎については、微生物検査と生理機能検査がそれぞれの役割を果たすだけでなく、両者の連携が診断精度の向上や治療方針の決定において、いかに重要であるかを改めて学びました。部門を越えたコミュニケーションにより、エコー画像をより注意深く観察し、検査の質を高めることの大切さを実感しました。

医療公開講座では、災害時医療の現状と、臨床検査技師としての役割を再認識する貴重な機会となりました。災害時においても正確かつ迅速な検査提供が求められる中、事前の備えやチーム医療との連携体制の構築が不可欠であることを、過去の教訓から学ばせて頂きました。今回の研修を通じて、日々の業務における視点がより広がったと感じています。今後もこのような学びの機会を大切にし、他部門との連携強化や災害対応力の向上を目指して、自己研鑽に努めたいと思います。



座長集合写真



研究発表会会場風景

#研究班

寺前 正純 会員（微生物研究班）

暑さが続く7月末、今年も「初級者講習会」を開催しました。

この講習会では、微生物検査の初級者の方にぜひ身につけて頂きたい知識や技術について、つまづきやすいポイントに配慮しながら、分かりやすく説明することを心がけています。

皆さんは新人の頃、どのようなことに苦労されたでしょうか？

微生物検査をはじめたばかりの頃は、培地に異なる外観のコロニーが発育した際、どのコロニーを釣菌（同定・薬剤感受性試験）すべきか悩むことがあります。釣菌した菌は基本的に「起因菌」として扱われるため、不必要的釣菌は診療のミスリードにつながる可能性があるからです。

この判断には、各菌種における一般的な病原性の理解に加え、患者側の要因を考慮する必要があります。具体的には年齢、性別、現病歴や既往歴、時には食歴や海外渡航歴といった背景も重要な意味を持つことがあります。診療に貢献する結果を報告するためには、分離された微生物の解釈を基本としつつ、医師目線・患者目線で考えることも重要です。

このような悩みは、新人に限らずベテランであっても程度の差こそあれ共通するものです。ただ、何をどう学べば実践的な知識として活かせるのかは簡単ではありません。そのため、兵臨技の微生物検査研修会では定期的に「臨床推論」をテーマに取り上げ、参加者全体でスキルアップを図っています。

研修会は未だにWebでの参加者が多く、現地参加者は少ない傾向が続いています。ぜひ現地にお越しいただき、ディスカッションを通じて日頃の悩みを共有、解決しませんか？

皆さまの「現地参加」をお待ちしています！



《今後の予定》

第16回 西播地区研修会

開催日時／11月9日（日） 10:00～12:00

開催場所／兵庫県立はりま姫路総合医療センター 講堂（現地のみ）

内容／RCPC

第2回東播地区ナイトセミナー

開催日時／令和7年11月14日（金） 18:30～19:30

開催場所／明石市立市民病院（ハイブリッド開催）

内容／「～学んで活かそう～ 放射線画像の見かた」

第10回

突撃!
となりの検査室

神戸赤十字病院

《所在地》〒651-0073 兵庫県神戸市中央区臨浜海岸通1丁目3-1



●概要

施設名	神戸赤十字病院
病床数	280
部署人数	技師／22人 男女比／1:1.2 経験年数／～5年目5人、～10年目5人、 11年目～12人
勤務体制	勤務時間／8:30～17:00 夜勤体制／当直1人体制
第三者認証	取得済み(病院機能評価、JCEP)

●検査室で行っている検査領域

検体検査	採血、化学、免疫、血液、一般、微生物、遺伝子、輸血、病理
生体検査	心電図、呼吸機能、脳波、聴力検査、神経伝導速度、エコー(心臓、腹部、血管、乳腺、体表) その他:PSG、術中モニタリング

●施設や検査室で力を入れている領域や特色、アピールポイントなど

検査領域	姫路赤十字病院と遠隔迅速病理診断・連携病理診断を開始
詳細	神戸赤十字病院では、バーチャルスライドスキャナDP200の導入によって、姫路赤十字病院との遠隔迅速病理診断を実施しています。病理医が不在時でもがんゲノム医療連携病院の指定を受ける姫路赤十字病院 病理診断科と連携することで、質の高い病理診断を提供しています。

●新人教育について

新人教育の進め方	入職後約3か月間は検体検査業務に従事し、当直業務が実施できるようにトレーニングを行っています。所属部門が決定すれば、各部門の教育プログラムに沿った教育を行い、認定資格の取得を視野に専門性の高い検査技師の育成を行っています。
フレッシュな技師さんから一言	(西垣 乙羽(にしがき おとは)) 当直トレーニングを終え、病理検査に配属になりました。現在は薄切や切出し、細胞診のスクリーニングを主に行っています。特に薄切は日々先輩方にアドバイスを頂きながら技術を習得できるように努めています。今後は更に技量を高め、医療に貢献したいと考えています。

●採血室の状況

台数	3台	採血数/1日	140～160人
構成メンバー	技師1人、看護師1～2人		

●検査領域

分野	検査機器	年間件数
採 血	BC-ROBO	39,200
化 学	JEOL-BM-ZERO	1,279,345
免 疫	ルミパルスL-2400	71,852
血 液	XN-3100	207,553
一 般	オーションマックスAX-4061	37,737
微 生 物	VITEK MS PRIME	24,539
遺 伝 子	GENECUBE(モデルC)	546
輸 血	オーソVision	4492
病 理	ベンタナDP200	5,541
心 電 図	FP7541	14,937
呼 吸	FUDAC-7	618
神 経 生 理	MEB-2208	1539
聴 力	リオンAA-75	466
工 コ 一	Aplio i700	9,512

●運用面での工夫など

検査部は、形態検査課(病理・微生物・一般)、検体検査課(生化学・免疫・輸血)、生体検査課に分類されています。担当課長の采配の元、複数分野の検査に対応できる検査技師を育成しており、24時間365日安定した検査データを提供しています。

●技師長より、読者へ向けて一言よろしくお願ひいたします

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

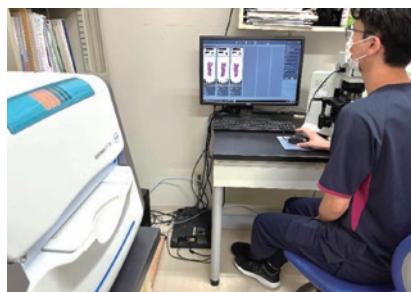
～神戸赤十字病院の災害救護活動について～

大規模災害は毎年の様に発生しています。日本赤十字社は災害による被災者の健康を守るために救護班を派遣し、救護所の設置や避難所での診療、検査などを行っています。能登半島地震においても検査部から5名の臨床検査技師が派遣され救護活動を行いました。神戸赤十字病院では災害時に医療支援活動が出来る臨床検査技師の育成にも取り組んでいます。

文責：駒井 隆夫 会員(神戸赤十字病院)



能登半島地震被災者救援のために派遣される日赤救護班とDMAT隊の出発式



バーチャルスライドスキャナ DP200



検体搬送システム



＼高校野球観戦／

小西 映里奈 会員(たつの市民病院)

令和7年度
春季近畿地区大会 高等学校野球大会



今月号を担当いたします、たつの市民病院の小西映里奈です。私が紹介する推し事は“高校野球観戦”です。

私の兄は小学生から高校生まで硬式野球をやっており、その間、私を含めた家族で毎週、兄の応援に行っていました。また、家でもテレビが点いている時間のほとんどがプロ野球の視聴で、常に野球が身近にある環境でした。



第107回全国高校野球選手権大会の甲子園球場

当時、幼かった私は野球の面白さが分かりませんでしたが、平成29年の夏の全国高校野球大会の智辯和歌山高校(和歌山)と興南高校(沖縄)の試合を観て、野球への思いが一変しました。そのときの試合の概要は、興南高校が3回裏の1イニングの攻撃で6点を先取し、このまま勝ち進むと思っていたましたが、9回までの智辯和歌山高校の攻撃で着々と点数が入り、逆転勝利となりました。この試合はこれまで私が観てきた野球とは違い、予想だにしなかった展開や出場選手たちが真摯に取り組んでいる一方で楽しそうであり、その選手たちを球場全体で響き渡る応援に感動し、それから野球の魅力にはまってしまいました。

さらに試合に勝つための戦略や選手のファインプレーなどの過去の名シーンを見たことでより

一層興味を持ち、今となっては近畿圏内の地方大会に足を運ぶほど夢中になっています。

このほか、私にはもう一つの楽しみがあり、それは地方大会の野球観戦後にその土地の観光名所を訪ねたり、グルメを堪能することです。なかでも私が印象に残っているのは、和歌山のマリーナシティで食べた海鮮丼は、地元の新鮮な魚をふんだんに使った丼で、このうえないおいしさに感動しました。その帰りに立ち寄った和歌山城もとても美しかったです。

この記事が掲載される頃には夏の高校野球も終わっていることと思いますが、来年の春のセンバツの出場校を決める秋季大会が開催されるので、今からどこの高校が勝ち上がってくるのか楽しみです。皆さんも野球観戦とともに観光を楽しめてはいかがでしょうか。



和歌山マリーナシティで食べた海鮮丼

 Together for a better healthcare journey



**全自動免疫測定装置
HISCL™-5000**

医療機器製造販売届出番号: 28BIX10014000011

**検査環境にフレキシブルに対応
HISCLシリーズ。**

医療環境の検査部門に求められる効率化と高付加価値化に必要なポテンシャルを備えて誕生しました。

迅速測定 高感度 微量検体 優れたユーザビリティ



**全自動免疫測定装置
HISCL™-800**

医療機器製造販売届出番号: 28BIX10014000012

注 : 活動及びサイトの適用範囲は税格により異なります。
詳細は www.bx.com の ID 0910589004 を参照。
Note : The scope of application for activities and sites varies by tax category.
For details, refer to the ID 0910589004 at www.bx.com

製造販売元
 Sysmex Corporation

(お問い合わせ先)
 支店 仙台 022-722-1710 北関東 048-600-3888 東京 03-5434-8550 名古屋 052-957-3821 大阪 06-6341-6601 広島 082-248-9070 福岡 092-687-5380
 営業所 札幌 011-700-1090 盛岡 019-654-3331 長野 0263-31-8180 新潟 025-243-6266 千葉 043-297-2701 横浜 045-640-5710 静岡 054-287-1707
 金沢 076-221-9363 京都 075-255-1871 神戸 078-251-5331 高松 087-823-5801 岡山 086-224-2605 鹿児島 099-222-2788

www.sysmex.co.jp 2504

Canon

**私たち
「いのち」
から始まる。**

激動する世界で「いのち」の輝きこそが未来への希望であり、前へ進む力であると
キヤノンメディカルシステムズは信じています。

医療機器メーカーである私たちの使命は、尊い「いのち」を守る医療への貢献。

創業以来、つねに医療関係者の方々と手を携え、数々の技術開発に挑んできました。

その想いは、経営スローガン「Made for Life」として、
世界中の社員一人ひとりの胸に変わることなく息づいています。

医療の現場を全力で支え、健康と「いのち」を守る臨床価値を創出するために。
私たちはこれからも“いま”を拓き続けてまいります。

患者さんのために、あなたのために、
そして、ともに歩むために。

Made For life



キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon> Z000059-02